

JUN 2010

Vol.

4

KIZUNA.4

近畿大学医学部 附属病院 広報誌

きずな



理 念

患者本位の開かれた病院として、
安全で質の高い先進医療を提供します。

基 本 方 針

1. 特定機能病院として、医学医療の進歩に関与し、社会に貢献します。
2. 教育病院として、人に愛され、信頼され、尊敬される医療人を育成します。
3. 南大阪における基幹病院として地域医療に貢献します。
4. 働きがいのある病院として、チーム医療と環境整備に努力します。

発刊にあたって

近畿大学医学部附属病院 病院長 工藤 正俊

近畿大学医学部附属病院広報誌「きずな」第四号をお届け致します。

近畿大学医学部附属病院は南大阪における教育・研究・診療の基幹病院として高度先進医療やがん医療、肝疾患医療、三次救急、小児医療など幅広く市民の皆さま方の健康をお守りすべく日夜がんばっております。本号においても当院の最新の情報や各診療科の紹介、各部門の活動状況ならびに病気の解説などを掲載しておりますので皆さまのご参考になれば幸いです。

この冊子が皆さまのお役に立てることを願いまして第四号のご挨拶とさせていただきます。



C o n t e n t s

発刊にあたって	P.01
最新情報	P.02
各診療科の紹介（腎臓・膠原病内科）	P.07
各診療科の紹介（整形外科）	P.08
基礎系教室の紹介（生理学Ⅰ）	P.09
歯科口腔外科だより	P.10
医療安全対策室だより	P.11
人工透析部だより	P.12
看護部だより	P.13
東洋医学研究所だより	P.15
やすらぎの空間	P.16
食中毒にご用心を！	P.17
大阪狭山市の名所めぐり〈狭山池〉	P.19
患者さま用駐車場料金改定のお知らせ がん相談支援センターのご案内	P.20
患者さま相談窓口 医療・福祉相談室	P.21
各診療科・部門のご案内	P.22

《受診される皆さまの権利》

近畿大学医学部附属病院では受診される皆さまが以下に掲げる権利を有することを確認し、尊重します。

1. 人間としての尊厳を尊重されながら医療を受ける権利
2. 病院全機能をあげて最善で安全な医療を受ける権利
3. 自らの心身の状態を理解するために当院から必要な情報を得る権利
4. 当院から必要十分な情報の説明を得た上で、自己の自由な意志に基づいて医療行為を決定する権利
5. プライバシーの保護を受ける権利
6. 必要に応じ、医療費用の内容に関する情報を受ける権利

《臨床倫理》

1. 医療を受ける人々の権利を最大限尊重するとともに、医療を受ける人々の最善の利益を追求する医療を提供する。
2. 医療を受ける人々の信条や価値観に十分配慮する。
3. 医療内容、治療の選択について詳しく説明し、医療を受ける人々の自由な意思に基づいて医療行為を決定する権利を尊重する。
4. 倫理的な問題を含むと考えられる医療行為については、法令やガイドラインを遵守するとともに、院内において十分審議検討を行う。

表紙写真：整形外科 濱西 千秋

昨年秋に家庭菜園で収穫したものです。孫用の赤い一輪車に乗せています。
それぞれがいわくありげなものばかりです。

■ 最新情報

「がんセカンドオピニオン外来」のご案内

当院では、平成22年2月1日から、「がんセカンドオピニオン外来」を開院いたしました。主治医との良好な関係を保ちながら、診断内容や治療法に関して、他の専門医の意見・判断を聞くことにより、ご自身の治療の参考にしていただくことを目的としています。主治医から説明を受けたが決定できない、もっと他の方法はないかなど判断に迷った時、当院の専門医に意見を聞いてみてはいかがでしょうか？

相談の対象となる方

患者さまご本人の相談が原則です。同意書をお持ちの場合はご家族のみでも相談は可能です。患者さまが未成年の場合や来院・対話ができる状態でない場合は、続柄と本人確認できる書類（健康保険証・運転免許証など）をご持参ください。当院に転院し、当院での検査・治療を希望される場合は、セカンドオピニオン外来の対象とはなりません。

相談日・時間帯

月～金曜日 13:00～16:00、土曜日 11:00～12:45 完全予約制

料 金

60分 31,500円（消費税込）
※健康保険適用外で、全額自費になります。
※やむを得ず、超える場合は、60分ごとに加算されます。

申し込み方法

近畿大学医学部附属病院ホームページ <http://www.med.kindai.ac.jp/huzoku/> の「TOPICS」をご覧ください、「がんセカンドオピニオン申込書」および「がんセカンドオピニオン同意書」を郵送かFAXにて、医事課にお申込み下さい。なお、お返事には1週間程度かかります。お電話にて予約日をお知らせし、予約票を郵送いたします。

お申し込み・お問合せ先

近畿大学医学部附属病院 医事課 がんセカンドオピニオン外来担当
TEL 072-366-0221（代表）
受付時間 10:00～16:00（月～金） 祝日・年末年始、創立記念日（11月5日）は除く。

耳の再生

Tissue engineering とは？ 組織工学的手法を駆使して、生分解性ポリマーで細胞を増殖させる足場をつくり、それと細胞を組み合わせることで、複雑な機能や形態をもった組織や器官を再生誘導するという世界最先端の治療技術です。私たちのグループはこの最先端の技術を使って、人間

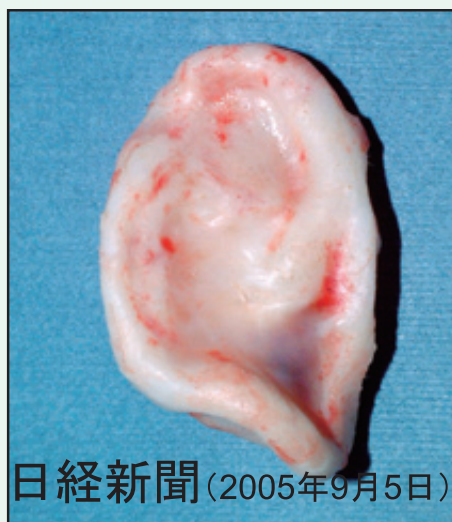
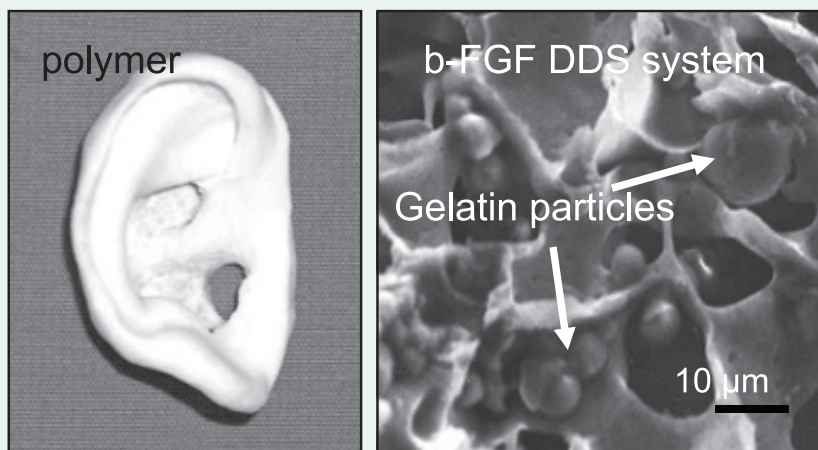
の指や耳などの骨・軟骨組織の再生誘導に取り組んでいます。

最終的にはこれを、外傷で指や耳を失った人や先天的に耳が小さい小耳症の患者さまに移植できる段階に引き上げることが目標で、現在はそれに向けた動物実験の段階です。

近畿大、動物実験で耳介の再生に成功

2005/09/06/

近畿大学医学部形成外科助教授の磯貝典孝氏、教授の上石弘氏らの研究グループは、ゼラチン粒子で徐放化した塩基性線維芽細胞成長因子 (bFGF) とイヌ耳介軟骨細胞、ポリマーの複合体をヌードマウスに移植することで、早期に形状が良く柔軟性、安定性に富んだ軟骨を再生させることに成功した。またヌードマウスだけでなく、形が少し不十分ではあるものの、イヌへの移植にも成功していることを明らかにした。成果は 9 月 2 日に東京で開催された日本組織工学会で発表された。



日経新聞 (2005年9月5日)

■ 最新情報

附属病院・がんセンター主催 第2回クリスマスコンサート

腫瘍内科 中川 和彦

2009年12月19日の午後のひととき。医学部大講堂にて第2回クリスマスコンサートが開かれました。がんやその他の病気で附属病院に通院中・入院中の患者さまやご家族の方々に向かって、「私たちは、患者さま・ご家族と暖かい関係を築いて共に生きていきたい」との病院スタッフである私たちの意志を表明するための場として企画されました。清教学園ハンドベル部の乙女たちによるキャンドルサービスに始まった第一部では、厳かなハンドベル演奏がクリスマスの雰囲気盛り立てると、つづくゲノム生物学教室西尾和人教授による琴と村松めぐみさんのピアノの合奏は心のこもったもてなしの心を醸しだし、学部学生の音

楽クラブ「コレギウムムジクム」の歌と演奏は医者の卵の熱意を集まった聴衆に伝えました。プロの演奏家による音楽のプレゼントである第二部には、昨年の盲目のテノール歌手「新垣 勉」さんに続いて、今年は世界的なバイオリニスト「前橋 汀子」さんが卓越したピアノ演奏家と共に参加してくれました。親しみのある名曲の数々をバイオリンの繊細かつ多彩な音と技術で表現。聴衆は本物の音楽に間近に触れて感動し、魅了されました。会場に来てくださった患者さまとご家族、出演者の皆さま、いろいろなところで奉仕してくれた病院内外のボランティアの方々、クリスマスを通して一体感を味わえた喜びのひとときでした。感謝。



音楽クラブ「コレギウムムジクム」



清教学園ハンドベル部



西尾和人教授による琴



前橋汀子さん

ハロウィンとクリスマスお楽しみ会 保育士より

子ども達が入院している57病棟では、10月30日にハロウィンお楽しみ会がありました。

保育士とポリ袋で作った衣装を着て仮装した子ども達が朝から廊下をウロウロ・・・。

15時になると仮装した看護師や保育士が風船とおやつをプレゼント。お化けの格好に泣き出す子どもに、「このお化け、誰なん!？」とはしゃぎだす子どももいて、大騒ぎでした。

15時半からはスタッフによるお楽しみ会でした。看護師・保育士によるクイズ大会や研修医による手品ショー、お医者さんの顔で『赤ずきんちゃん』の大型紙芝居は子ども達も大喜びでした。

12月17日には少し早めのクリスマス会。スタッフがサンタに仮装してささやかなパーティーが開催されました。紙芝居やクイズ大会、劇などの出し物に大盛り上がりでした。子ども達からは、前日より「サンタ来るの？」など期待にあふれた声が聞かれ、保育の時間で作ったブーツを飾ったり、枕の下にサンタさんへの手紙をしのばせたり・・・微笑ましい光景でした。



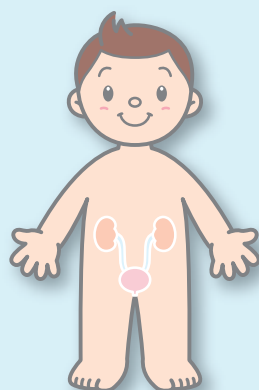


※写真掲載については本人及び保護者の許可を得ております。

腎臓・膠原病内科

膠原病と腎臓病を担当。代表的な疾患は全身性エリテマトーデス、関節リウマチ、糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、腎不全です。最近話題の生物学的製剤や免疫抑制薬の効果的な使用法を検討する一方、血液透析、免疫吸着等の血液浄化療法を

駆使して、Quality of Life を重視した治療を心がけています。多くの疾患が全身に影響を及ぼす慢性疾患であるため、血圧や体液異常の是正を始めとした全身管理と、感染症等の合併症の早期発見に努めています。



各診療科の紹介

■ 外 科 学

整形外科（運動器科）

当科は、頸椎から足まで、骨・関節・筋から脊髄・末梢神経に至るまでの運動器の幅広い分野の病気を扱っています。その疾患は、変形性関節症に代表される退行性疾患から、関節リウマチ、骨軟部腫瘍や、骨折・脱臼などの外傷性疾患などがあります。また患者さまも新生児の内反足から、高齢者の骨粗鬆症まで全年齢層を対象にしています。そのため、整形外科医は、日本整形外科学会

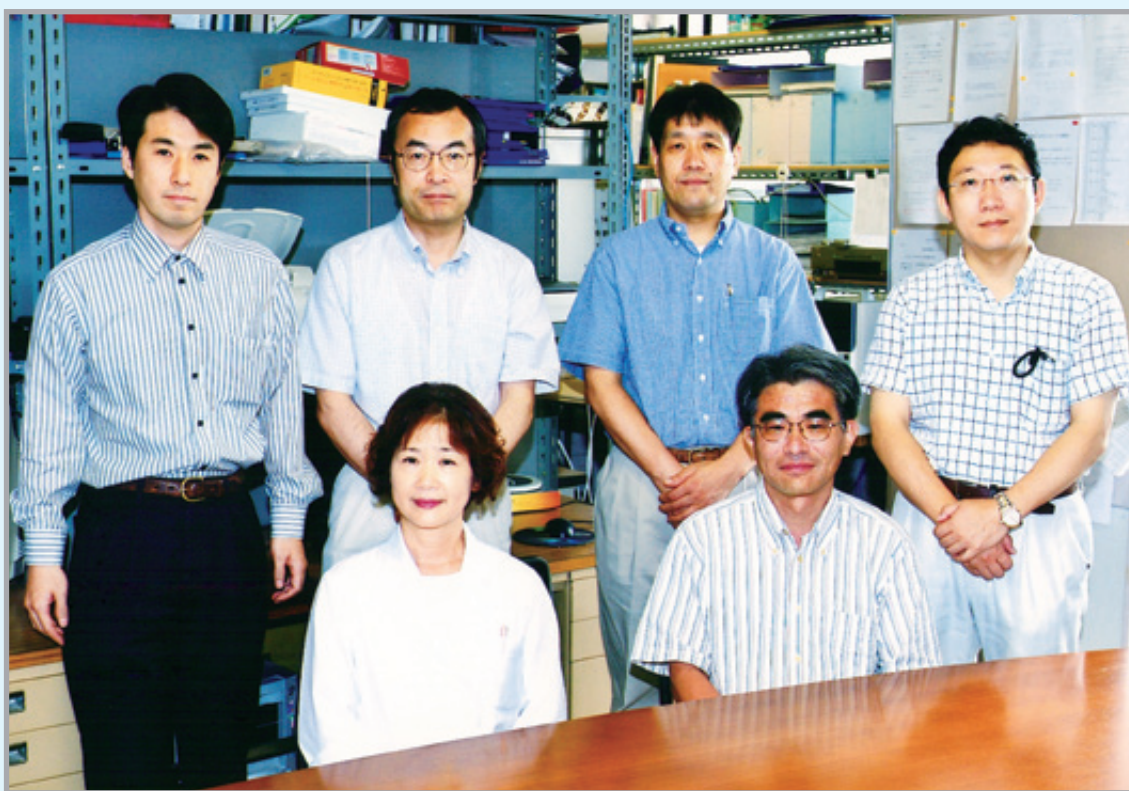
専門医はもとより、さまざまな分野の専門医、認定医などの資格を取得しており、専門領域ごとにグループ診療を行っています。

患者さまの苦痛を和らげ、QOLの改善をめざして人工関節置換術、脊椎手術など、大学病院としては屈指の数である年間約650件前後の手術を行っています。



私達の行動は脳によって制御されています。脳は、視覚や聴覚・皮膚感覚などの感覚情報を分析し、複雑な情報処理を介して行動を計画します。このような脳のはたらきは高次脳機能と呼ばれ、主に大脳皮質がこの機能を担います。私達は大脳皮質の高次機能を研究しています。大脳皮質が障

害されると認知や記憶、判断、言語などの様々な機能が損なわれ、日常生活に甚大な支障をきたします。私達の研究が高次脳機能障害に伴う病態の解明に、そして新しい治療法の開発につながることを、願っています。



■ 歯科口腔外科だより

看護師・歯科衛生士・歯科技工士の連携

現在、歯科口腔外科において、看護師2名、看護助手1名、歯科技工士2名、歯科衛生士7名（病棟4・外来3）で業務を行っております。

当科は、近隣の医療機関および院内他科などから毎日100人を越す患者さまが来院され、年間初診は3,000名にのぼります。そのため口腔外科的疾患や、基礎疾患をお持ちの患者さまも多く、看護師を中心とし3職種のチームワークのもと、診療を行っております。歯科技工士は、歯科医院で行われる一般的な技工の他に少し特殊な技工も行っていて、例えば、手術用シーネ、インプラント、顎義歯、ホッツ床、顎関節症及び睡眠時無呼吸症候群の装置などさまざまな技工物も作製して

います。

歯科衛生士は、歯科口腔外科外来では診療補助や歯石除去及び口腔衛生指導等を行い、病棟においては、他科入院中の嚥下障害などをお持ちの患者さまおよび手術前の患者さまに対し、専門的口腔ケア及び歯磨き指導を行っています。なお、摂食・嚥下リハビリテーション学会及びNST等の学会、勉強会においても、積極的に参加・発表を行い、技術の修得や知識の向上に努めています。

スタッフ一同、診療の補助及び予防活動など幅広く活動し、患者さまの不安な気持ちを軽減し、患者さまからの信頼が得られるよう心の籠もった対応をモットーに日々頑張っています。



外来診療



技工室



病棟口腔ケア

医療安全対策室だより

医療安全対策室のこれまでとこれから

医療安全対策室は、それまで医療者個人に委ねていた、「医療安全」および「医療の質」の確保を病院レベルでの活動としていくことを目的として、平成12年4月に病院長直轄の機関として安全管理部の下部組織として設置されました。当初も名称は「安全管理室」となっておりましたが、「交通安全」なのか「家内安全」なのかわからないと言うご指摘を受け、平成19年1月、室長の交代に伴い、現在の「医療安全対策室」と変更し

なりました。活動の基本としては、近畿大学医学部附属病院内の「医療安全」および「医療の質」の充実、推進を担うとともに、医療相談安全管理課と協力し患者さまへの対応のお手伝いも行うこととしています。外部組織との交流としては、関西4私大の医療安全担当とも連絡を密にし、より幅広い医療安全情報の交換を行うと共に、近畿大学関連3病院および南大阪地域の病院とも連絡会を開催し医療安全情報の共有を心がけています。

院内では、医療事故防止及び対応体制が実質的に機能するために、次のような実務を担当しています。

- ・ 医療安全および質向上のための情報収集、分析、企画・立案、実行及び評価
- ・ ・ ・ Dr. からの協力は少ないですがヒヤリハット事例（事故未遂事例）を分析して事故防止に努めたいと考えています。
- ・ 医療安全や質向上に関する教育・研修・・・年に数回、職員対象に医療安全についての医療安全研修を行っています。毎回700～800名が参加してくれています。参加希望があれば、お知らせください（一般、患者さま向けも検討中です）。
- ・ 医療安全情報や医療関連法律などの職員への情

報提供・・・上記研修のほか、インターネット、院内LANなどで情報提供をしています。

- ・ 現場責任者であるリスクマネージャーへの情報提供および連絡・調整・・・全リスクマネージャーが集まる委員会を開催し、議事録への意見を各部署から集め、それに我々が回答する形でキャッチボールを心がけています。
- ・ 電子カルテ診療記録の記載方法の改善およびカルテ記載内容の監査・・・カルテを使いやすくする代わりに、ちゃんと書いてくださいと言う運動です。
- ・ 医療安全に関する委員会や関係者の支援など・・・ほぼ毎日、誰かがどこかの会議に出席させていただいております。

今後、医療事故やヒヤリとした事例から危険性を学び、病院上層部および現場の医療関係者の人

材育成や社会への情報発信などを行っていこうと考えています。

近畿大学医学部附属病院 安全管理部医療安全対策室 メンバー紹介



西隈 菜穂子
(安全管理部医療安全対策室
専任看護師：看護長)



辰巳 陽一
(安全管理部安全対策室
室長：血液内科准教授)



奥野 清隆
(副院長、安全管理部部長
：外科教授)



大磯 直毅
(安全管理部医療安全対策室
副室長：皮膚科講師)



保田 知生
(安全管理部医療安全対策室
副室長：外科講師)



金澤 光治
(医療相談・安全管理課
：課長補佐)



山元 秀明
(医療相談・安全管理課
：課長)



田中 俊夫
(医療相談・安全管理課
：課長代理)



中岡 麻江
(医療相談・安全管理課
：事務職員)

■ 人工透析部だより

昭和50年人工透析部は近畿大学医学部附属病院開院と同時に外来の一部門として病院3階に開設されました。当初の病床数は10床で血液透析が開始され、現在は15床で稼働しています。業務内容は新規血液透析導入、他の疾患にて当院で治療が必要になった転入患者さまの維持透析療法

が主体ですが、最近では全身性疾患に対する免疫吸着療法、血漿交換が増加しています。スタッフは看護師8名、臨床工学士3名であり医師は泌尿器科、腎臓膠原病内科の連携により業務を遂行しています。



■ 看護部だより

看護師は、各科病棟、救命センター、手術室、各科外来、ER部、中央放射線部、通院治療センター、透析室、内視鏡室において、患者さまによりよい看護の提供に努めております。

今回は新生児集中治療室（NICU）を紹介いたします。



病棟の紹介 新生児集中治療室（NICU）

NICUは、超・低出生体重児や先天性疾患などの患児で、救命や急性期の集中治療・ケアおよび安定化のため、医師を中心に看護師が協働し、24時間均質の治療・ケアを行なっております。また、患児の環境に対し、ディベロップメンタルケアを導入し、赤ちゃんの発達状態に応じた環境

調整を行なっています。NICUは治療だけでなく、親子関係形成の場でもあり、早期よりカンガルーケア、タッチケアを行い、親の愛着形成を支援しています。そして、退院後も、医療・ケアを必要とする患児のご家族には、ケアの指導や育児指導などを行い継続看護につなげております。

<看護長からの一言>

NICUが、親と子の関係を育むにふさわしい「場」であるため、治療や看護を通して子供の成長を支え、親の気持ちを癒しつつ患児と向き合え

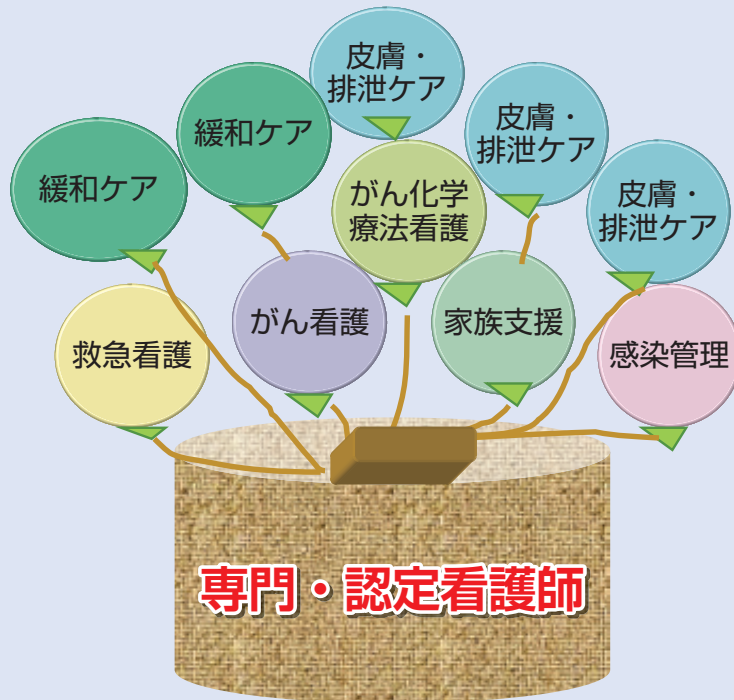
るよう支援することです。親子関係形成支援は、私達看護師の大きな役割の一つでもあります。



■ 看護部だより

当院には、スペシャリストナース（専門看護師）2名、
エキスパートナース（認定看護師）8名が
それぞれの分野の役割を果たすべく日々活動しております。

今回は皮膚・排泄ケア認定看護師を紹介いたします。



認定看護師の紹介

皮膚・排泄ケア認定看護師（Certified Nurse in Wound, Ostomy, and Continence Nursing）阿部 薫

皮膚・排泄ケア認定看護師は、ストーマ・褥瘡を含む創傷・失禁のある患者さまに対し専門的な知識や技術をもってケアを行う看護師です。また皮膚や排泄に関連した問題に対し相談をお受けし、問題解決へのサポートも行ないます。

私は、2009年に皮膚・排泄ケア認定看護師の資格を取得し、昨年までNICU（新生児集中治療室）に勤務しており、新生児の皮膚障害や、手術後の創部管理、ストーマケアの実践と家族指導を行なっておりました。2010年4月より専従となり、ストーマケア、スキンケアの必要な患者さまに関わらせていただけるようになりました。まだまだ、未熟なことも多いですが一人ひとりの患者さまとの出会いを大切に少しでもお役に立ちたいとおもっております。

知識・技術の向上をはかり専門的スキンケア・排泄ケアを患者さまに提供できるよう日々努力していきたいと思っております。



■ 東洋医学研究所だより

～東洋医学外来の特徴～

当科の患者さまの三大疾患は、アレルギー疾患（アトピー性皮膚炎、鼻炎、気管支喘息）、心の失調（抑うつ、不安）、膠原病（関節リウマチ）です。どれも病気の原因が多岐にわたるためピンポイントに治療しづらい疾患群です。

このため、新薬のような単一成分からなる薬剤では多剤併用になりやすく、副作用や医療費が高額になりやすくなりますが、漢方薬ではもともと複合成分のため多面的に作用するので少数の薬物で効き目が現れます。

心身一如の医療を展開しています。

東洋医学研究所 教授 新谷 卓弘



付記：当診療所では高品質の生薬を提供させていただくため、昭和50年5月の開所以来、自由診療としています。具体的には、漢方

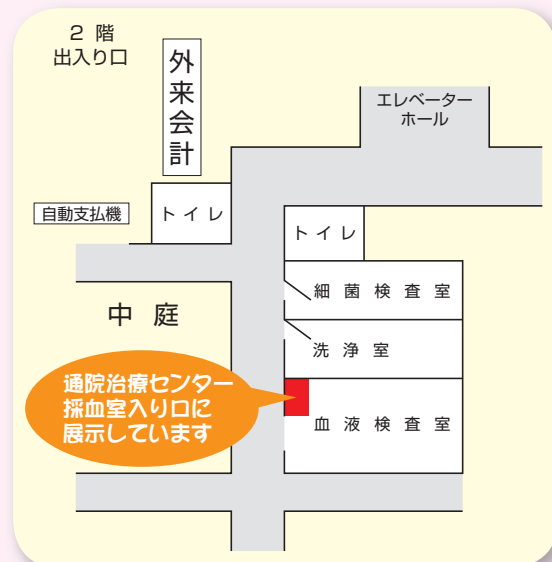
薬の一日当たりの平均コストは500円です。ご理解の程、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

■ やすらぎの空間

病院2階 中央臨床検査部 通院センター採血室前に一年のいろんな行事をイメージした展示物があるのをご存知でしょうか？

患者さまに少しでもやすらぎを感じていただけるように検査部血液検査室の技師が手作業で作っています。

昨年秋のハロウィン、冬のクリスマス、今年の新年、節分、ひな祭りなど展示しました。これからも季節の行事をイメージした作品を展示するそうですのでご覧いただければ幸いです。



■ 食中毒にご用心を！



田端 信忠

近畿大学医学部小児科

1 | 食中毒とは？

梅雨時から夏場、さらに食欲の秋にかけては食中毒の発生しやすい季節です。その主な原因は、夏場には細菌（食中毒菌）が繁殖しやすいためです。以前から3大食中毒菌としては、腸炎ビブリオ、サルモネラ、黄色ブドウ球菌が知られています。しかし、寒い時期でもゼロではなく、ノロウイルスなどによる食中毒があります。

皆さまは、生活環境が衛生的かつ快適になった昨今、「食中毒なんて自分とは関係ない」と思っているかもしれませんでしょうか？しかしながら、衛生環境はよくなっても発生件数は減ってはいないのが実情です。

以前には、魚介類と関連のある腸炎ビブリオによる食中毒が最も多く、食中毒事件全体の約半数がこの菌で引き起こされていました。しかし、近年では、トップにカンピロバクター、次いでノロウイルス、サルモネラの順になり、鶏肉や牛豚肉、あるいは鶏卵などに関連のある原因が多くを占めるようになり、私たちの食生活が魚介類を中心とした和風から、肉類を中心とした欧風へと変化したことと深い関係があるとされます。一方で、自然毒（ボツリヌス毒、フグ毒、キノコ毒など）や化学物質による急激な食中毒もあります。

食中毒は抵抗力の弱い乳幼児やお年寄り、夏バテなどで弱っているときに感染、発病し易く、命に関わることもあります。

食中毒菌が増えても味や色、においは変わらないことが多く、食中毒予防の3原則である「菌を付けない、増やさない、殺菌する」で、発生を防ぐことが大切です。適切な対処法で、日射し一杯の季節を健康に過ごしましょう。



2 | 食中毒の症状

食中毒の多くは、急激な嘔吐、下痢、腹痛、発熱などの急性胃腸炎症状で発症します。水分、塩分、そして糖分の補給で自然に治ることも多いですが、脱水に伴いショック症状に陥ることもあります。また、自然毒や化学物質などによっては、けいれんや麻痺などの神経症状、あるいは呼吸障害など急激な症状を伴うこともあります。

尿の量が少なくなり、口の中がカラカラに乾くなどの脱水症状が目立つとき、神経や呼吸器症状を起こしているとき、大腸菌O-157感染などが疑われる鮮血便を認めるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



3 | 食中毒への対処法

通常、下痢止めの薬は使いません。なぜなら、下痢は病原菌を排泄する体の防衛反応だからです。

炭酸を含まないスポーツドリンクなどによる水分補給が大切です。下痢があると水分摂取を控えめにしがちですが、失われる水分を補充するため、すなわち脱水を防ぐために、十分な水分補給が必要です。口からの水分摂取ができない場合は、医療機関での点滴が必要です。食事は症状が安定するまでは、控えて下さい。症状が安定したら、スープやお粥から始めます。

いずれにせよ、早めに医師の診察を受けて下さい。食べた物のメモ書きがあると、診察の際に役に立ちます。医師は食中毒を診断したり疑ったりしたら、直ちに保健所へ届け出をすることで、発生拡大を防ぎます。

4 | 食中毒を引き起こす主な細菌やウイルス

- ①**サルモネラ**：鶏や家畜などの腸に住んでいます。鶏肉や鶏卵が主な感染源です。生卵は新鮮なものを選ぶようにしましょう。卵を割ったまま置くことや半熟は危険です。加熱によって殺菌できるので、できれば生食は止めましょう。また、ペットからの感染にも注意が必要です。
- ②**腸炎ビブリオ**：海水中に住んでいます。海でとれる魚介類から感染します。刺身などを食べる日本に多いです。夏場に多く、繁殖力が強いですが、低温保存や加熱が予防に有効です。
- ③**黄色ブドウ球菌**：人の鼻や傷口などにいます。ケガやあかざれがある手指での調理には、ゴム手袋などを使用しましょう。この菌の毒素により、食事から数時間以内に発症します。耐熱性なので、加熱しても予防はできません。かつての乳製品による食中毒事件は有名です。
- ④**カンピロバクター**：鶏や家畜などの腸に住んでいます。主に鶏肉からの感染が知られています。十分な加熱により殺菌できます。酸素が少ないと増えやすく、カレーの再加熱ではよくかきまぜることも大切です。感染後数週でギラン・バレー症候群と言った神経麻痺を引き起こすことも稀にあります。
- ⑤**病原性大腸菌O-157**：人や動物の腸にいる大腸菌の中には、食中毒を起こすO-157などが知られており、多くは食肉から、少量の菌でも感染します。熱に弱いので、加熱調理で殺菌できます。下痢、次第に激しい腹痛、鮮血便となり、腎不全や脳症を引き起こすことがあります。1996年堺市での集団食中毒事件では、大変な思いをされた方もおられると思います。
- ⑥**ノロウイルス**：カキなどの二枚貝に含まれ、これらを食べたり、感染している患者さまの汚物に接触したりすることにより感染します。冬期に多く発生します。調理をする際には手洗いを心がけ、食品を十分に（食品の中心温度が85℃以上で1分間）加熱するようにしましょう。感染力が強く、人から人への二次感染を防ぐために、汚物だけでなく、食器、リネン類、ドアノブなどの慎重な取り扱いや消毒が必要です。消毒には、アルコールは無効で、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤を約50～100倍に希釈したものなど）を用います。

5 | 食中毒予防の3原則は「菌を付けない、増やさない、殺菌する」

- ①**菌を付けない**：流水による手洗いの励行、食品では生食するものを先に（加熱するものは後から）流水で洗うこと、おにぎりは素手では握らずにラップフィルムを用いること、調理器具を熱湯や漂白剤で殺菌すること
- ②**菌を増やさない**：食品は新鮮なものを購入すること、よく洗ってから速やかに冷蔵あるいは冷凍保存して早めに使い切ること、できる限りすぐに食べ切ること、カレーなどの作り置きは直ぐに鍋ごと流水で冷やし小分けして冷蔵あるいは冷凍すること、調理器具やスポンジやふきはよく洗浄して乾燥させること
- ③**菌を殺す**：調理のポイントは加熱です。食品の中心温度が75度の状態で1分間加熱することで、大多数の食中毒菌は死滅します。加熱時によくかき混ぜることも大切です。

6 | とくに

子ども、お年寄り、抵抗力の弱い患者さまでは、生レバー、ユッケ、鶏の刺身など生肉を食べさせない、できればご家庭全員で食べないことが大切です。生卵や半熟卵に關しても同様で、親子丼などでも充分に火を通して下さい。症状としては、尿量の減少や鮮血便を認めるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。また、吐物の誤嚥による窒息にも注意が必要です。あと、人から人への二次感染予防にも注意を払って下さい。



■ 大阪狭山市の名所めぐり 〈狭山池〉

狭山池は、飛鳥時代の西暦616年頃に誕生した日本最古のダム形式のため池です。以来最近の「平成の大改修」まで1400年間、この池は何度も修復や改良が行われています。中でも有名なのは、鎌倉時代の重源（ちょうげん）の工事です。今に残る「重源狭山池改修碑」より当時の様子をうかがい知ることができます。

【狭山池修復の事 この池は昔、行基（ぎょうぎ）菩薩が奈良時代（731年）に始めて堤を築き、樋を伏せたものです。ところが年がたって、もるようになりついには池がこわれました。摂津河内和泉にある狭山池水下の50余村の人々の要請によって、重源が鎌倉時代（1202年）に多くの人々の力をあわせて石を引いたり、堤を築いたりしました。この工事に力を合わせた人々に幸せがありますように。大勧進造東大寺大和尚 南無阿弥陀佛（重源）…】

この碑を読むと狭山池は、大阪南平野の稲作の源一大阪の台所一であったこと、またこの復旧に力を尽くした人々の並々ならぬ苦労が偲べれます。そして、大阪の生んだ世界的な建築家・安藤忠雄氏の設計による「狭山池博物館」では、1400年を経た堤の土質の断層そのものを目の前に見て、長い歴史を実感できます。

博物館の見学の後は、一周2850mの遊歩道の散策がおすすめです。四季をつうじて毎日、老若男女のウォーキングで賑わっています。春は桜並木、夏は博物館の水庭の長い回廊で、頭上より冷水の滝が流れ、冬には桜の木のライトアップを楽しむこともできます。ウォーキングの途中ベンチに座れば、静かな水面に鴨の群、中州では羽をやすめる黒いカワウ、また池の端では魚をねらう白サギの親子が間近にみられます。右手に近畿大学病院を見て、背後の遥か岩湧山から金剛山、大和葛城山、二上山ずっと左手に奈良生駒山も一望です。機会があれば、狭山池を訪れていただき、健康のためにも散歩してみたいはいかがでしょうか。



■ 患者さま用駐車場料金改定のお知らせ

新料金表

平成21年3月1日から

3時間まで	4時間まで	5時間まで	6時間まで	7時間まで	8時間まで	8時間超
無料	300円	400円	500円	600円	700円	1000円

上記料金運用いたします。

その他

患者さま、御見舞客さま専用駐車場です。

駐車券を紛失された方は、落とし物センターで確認ください。

場内の交通事故、盗難事件は警備員及び警察へ届けてください。管理責任は負いません。

教職員・学生・出入業者の駐車は厳禁します。

継続して何日間も駐車しないようお願いします。公道で渋滞の原因になります。

日付が変わると新たに料金表の料金が累積して請求されます。ご注意願います。

近畿大学医学部附属病院 病院長

■ がん相談支援センターのご案内

当院では、地域の皆さまの「がん」に関する不安や悩み、
疑問にお答えするために
「がん相談支援センター」を開設しています。

相談日時	月～金曜日 10時～16時（祝祭日、年末年始除く）
相談方法	完全予約制、相談時間1人30分（相談料無料）
予約受付	TEL／FAX 072－366－7096
相談内容	患者さま、ご家族の療養上の相談 緩和医療に関する相談（ホスピス施設の紹介等も含む） 在宅療養中および、在宅への移行に関する相談 がんに関する医療費の相談、他

当院では、医療制度の相談、手続きの説明と患者さまやご家族の医療に対する意見や要望をお受けする患者さま相談窓口を設けております。

また、医療福祉相談室にて、ソーシャルワーカーが治療や療養の妨げとなる生活上の不安、心配事等をお聞きし支援いたしております。

■ 患者さま相談窓口

場 所／2階医療相談・安全管理課

受付時間／平 日 9:00～17:00

土曜日 9:00～11:45

主な相談内容

- 交通事故に関する保険関係の相談
- 高額医療費の相談
- 診療記録等の開示に関する相談
- 公費負担医療制度に関する相談



- ◎生活保護 ◎特定疾患医療制度
- ◎小児慢性特定疾患医療制度
- ◎自立支援医療制度（更正医療、育成医療、精神通院治療）
- ◎労災保険制度 ◎公害医療制度

- その他当院に対する意見・要望

■ 医療・福祉相談室

場 所／2階初診・再診受付横

受付時間／平 日 9:00～17:00

土曜日 9:00～11:45

主な相談内容

- 退院に関する相談、経済的問題に対する相談
- 社会保険・福祉制度に関する相談
- 心理的な問題の相談、社会復帰の相談





院内および敷地内は**全面禁煙**です。

入院される患者さまには、禁煙に関する同意書を記入していただいております。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

《個人情報保護について》

個人情報保護について近畿大学医学部附属病院では患者さまの情報の取り扱いに万全の体制で取り組んでいます。

1. 個人情報の利用目的について当院では、患者さまの個人情報を診療・教育などの目的で利用させていただくことがございます。これら以外の目的で利用させていただく必要が生じた場合には、改めて患者さまからの同意をいただくことにしておりますのでご安心ください。
2. 当院では、患者さまの個人情報の開示・訂正・利用停止等につきましても、「個人情報の保護に関する法律」の規定に従って進めております。

各診療科・部門のご案内

循環器内科、内分泌・代謝・糖尿病内科、消化器内科、血液内科、腎臓・膠原病内科、神経内科、腫瘍内科、呼吸器・アレルギー内科、メンタルヘルス科、小児科、(小児科一般・腎・血液・膠原病・心臓小児)、外科(肝胆膵外科、小児外科)、外科(上部消化管外科、肺・乳腺内分泌外科)、外科(下部消化管外科)、脳神経外科、心臓血管外科、整形外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科、放射線腫瘍科、放射線診断科、麻酔科、救命救急センター、歯科口腔外科、高度先端総合医療センター(PET 診断部門)、救急診療部(ER 部)、人工透析部、リハビリテーション部、中央手術部・ ICU (集中治療部)、NICU 部(新生児集中治療部)、周産期母子医療センター、内視鏡部、東洋医学研究所附属診療所(漢方診療科)

外来受付時間

平 日	土 曜	休診日
予約外又は紹介状をお持ちでない患者さま 8時30分～11時30分	8時30分～11時00分	日曜日・祝日 創立記念日(11月5日) 年末年始(12月29日～1月3日)
紹介状をお持ちの患者さま 8時30分～14時00分		

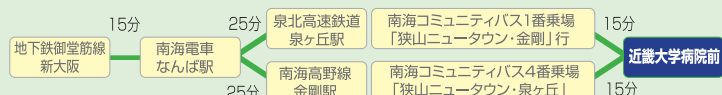
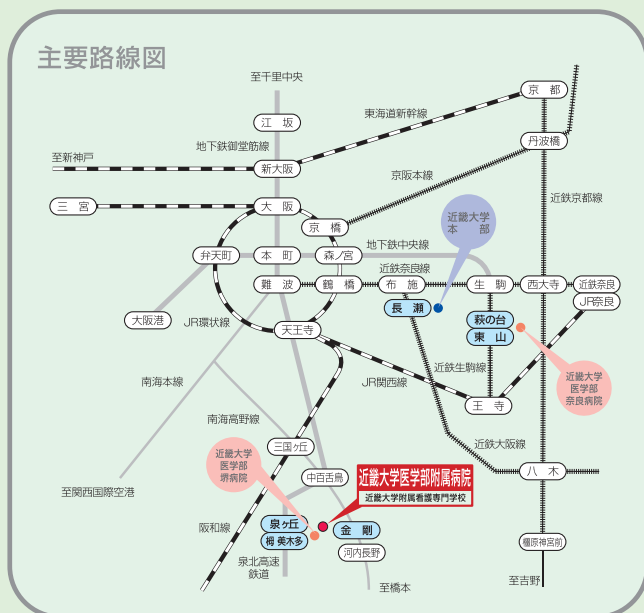
※患者さまが当院での治療等を必要とされる場合、紹介医からの紹介状が原則となっておりますので、なるべく当院宛の診療情報提供書(紹介状)を持参頂きますようお願いいたします。

※初診時に紹介状をお持ちでない方には、保険外併用療養費として5,250円(消費税込み)をご負担頂きます。

※診療科によっては、完全予約制や休診日もございますので、詳しくは各診療科にお問い合わせください。

近畿大学医学部附属病院

ア ク セ ス



お 知 ら せ

広報誌「きずな」のバックナンバーは、
病院ホームページよりご覧いただけます。

アドレス

<http://www.med.kindai.ac.jp/>

- 1 近畿大学・医学部ホームページ ▼ **病院** をクリック
- 2 **附属病院** をクリック
- 3 広報誌 バックナンバー きずな をクリック

編集後記

広報誌「きずな Vol.4」をお届けいたします。今回は、病院周辺の中から名所巡りを記載しておりますので、ご参考にしていただければ幸いです。これからも皆さまに喜んでいただけるような書面作りを目指し、日々努力をしていく所存です。
「きずな」をより良いものにするため、何かご意見がございましたら、お聞かせ下さいますよう、宜しくお願いいたします。

発行日／平成22年6月1日

発行場所／近畿大学医学部附属病院

編集／広報委員会 竹村 司

〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377-2

TEL (072) 366-0221 (代表)

FAX (072) 366-0206

ホームページ <http://www.med.kindai.ac.jp/huzoku/>